

執筆者紹介(掲載順)

古山 裕基(京都文教大学大学院文化人類学研究科 2014 年度修了生)

笠井 みぎわ(京都文教大学大学院文化人類学研究科 2014 年度修了生)

陳 珺 珺(京都文教大学大学院文化人類学研究科在籍)

鄭 菁 菁(京都文教大学大学院文化人類学研究科在籍)

矢野 みのり(京都文教大学大学院文化人類学研究科在籍)

編集後記

今年度の研究紀要には2つの論文と、2つのフィールド調査報告、1つの書評を掲載することができました。今回掲載した論文は、当初文字数で倍以上もあった分量を半分に削られ、査読を受けて修正され、不十分なところはまだまだありますが、やっところまで整備されたものになりました。1つの論文を書き、それを出版するときの作業には、修論を書き上げるのとはまた別の配慮が必要なことが執筆者には身にしみて理解できたと思います。今後も、執筆者の皆さんには、これに懲りずにさらなる意欲を持って論文の発表に臨んでいただきたいと思います。(橋本和也)

2014 年度に修士課程を終了した古山さんと笠井さんは研究活動を続けながら、忙しい時間を割いて何度も原稿を書き直し苦労して紀要論文を書き上げてくれました。これなら二人とも研究者としてやっていけると、ちょっと嬉しく思っています。修士一回生も、郡上八幡でのフィールドワーク報告と書評をまとめ、力をつけてくれたようです。今後に期待しています。(杉本星子)

編集「京都文教大学大学院文化人類学研究科研究紀要」編集委員会

橋本和也(京都文教大学大学院文化人類学研究科教授)

杉本星子(京都文教大学大学院文化人類学研究科教授)